

Course number		U-LAS05 20036 LJ31					
Course title (and course title in English)		ラテン・アメリカ現代社会論 Latin America at Present		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Center for Southeast Asian Studies Professor,MURAKAMI YUUSUKE	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Regions and Cultures(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2026・First semester	
Days and periods		Wed.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
「ラテンアメリカの政治と社会」 日本にとって、どちらかといえば馴染みのうすい中南米あるいはラテンアメリカと総称される地域を対象に、その政治と社会の特徴について論ずる。歴史的な背景や経済面での構造的制約条件をふまえつつ、またその中で形成されてきた社会と文化にも着目しながら、現代の情勢と動向について考える。ラテンアメリカ全体の概説を行うことに主眼をおく。ラテンアメリカや政治学についての基礎知識がないことを前提に講ずる。							
[Course objectives]							
・ラテンアメリカという地域に関する最低限の事柄を理解する。 ・ラテンアメリカを起点として、海外のほかの地域や日本のことを考える。							
[Course schedule and contents]							
以下のような課題について、1課題あたり1～3週の授業をする予定である。詳細は初回の授業で説明する。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。 1. 授業概要説明・序論 2. ラテンアメリカという地域 3. ラテンアメリカの自然と人 4. ラテンアメリカの歴史 5. ラテンアメリカの社会 6. ラテンアメリカの経済 7. ラテンアメリカの政治							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
平常点（授業内での取り組みやレポートなど）の評価による。具体的には、授業の進展に応じて課す小レポート（5つを予定）を60%、最終レポートを40%の割合で評価する。							
----- Continue to ラテン・アメリカ現代社会論(2)↓↓↓							

ラテン・アメリカ現代社会論(2)

[Textbooks]

村上勇介・出岡直也・山岡加奈子編 『現代ラテンアメリカ政治』（法律文化社、2025年）ISBN: 978-4-589-04447-1

[References, etc.]

（References, etc.）

国本伊代・中川文雄編 『ラテンアメリカ研究への招待〔改定新版〕』（新評論、2005年）ISBN:4-7948-0679-5

[Study outside of class (preparation and review)]

・日常生活に現れる「ラテンアメリカ」にちょっと関心をむけてみてください。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィス・アワーは授業日（水曜日）の午後を原則とする。希望する場合は、希望日の前の週までに、公開しているメール宛に必ず事前の連絡をいれて希望を伝えること。

[Essential courses]